



一粒の麦

ひとつぶのむぎ



体験デイ



風呂上りのアイスは最高♪

温泉入ってきました!!



フラミンゴきれい♪

芸能ボランティア

皆さんも真剣そのもの!!



フラダンスもありました♪

Let's Cooking!!



オリーブ班

オリーブ班は恵方巻き♪



パイパイ班

パイパイ班は手打ちうどん♪



恵方巻きにがんばり!!



アップル班

アップル班はどら焼き♪



手打ちだからこそその弾力!!

聖書のことば

平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるから。

(聖書 マタイの福音書5章9節)

■ コーヒーに誘われて ■

施設長 廣 瀬 恵

新しい年度を迎えました。4月1日は園内の桜の木約20本がちょうど満開でした。厨房に弁当を作っていたら、活動班ごとに親睦もかねてお花見をしました。また、ふれあいのメンバーは2日と3日県立博物館に花見に出かけました。3日間とも薄曇りで、春がいろどる自然に囲まれてのんびりとした気分でも弾みました。

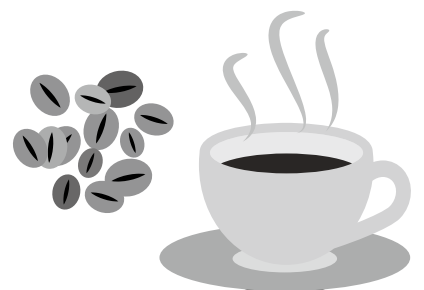
先日、グループホームで生活する田辺さんが、「廣瀬さん、いこいに遊びに来てください。コーヒーを飲みましょう。」と誘って下さったので、ホームの夕食が終わる頃を見はからってお訪ねしました。ちょうど食事が終わって4人の住人がテレビを見たり、部屋でゆっくりしていたり、洗濯をしているところでした。ジャージ姿の甲崎さんは地区のミニバレーボールの練習に行くとのこと。もう何年になるでしょうか？おそらく5年以上、仕事で疲れていても毎週木曜日は自転車に乗って1キロメートルほど離れた三名(さんみょう)区の体育館に練習に出かけています。年度末の地区のミニバレーボール大会ではエデンの園の職員チームに入ってプレイします。そのためエデンの園の中では地域の皆さんに一番知られた人となっています。

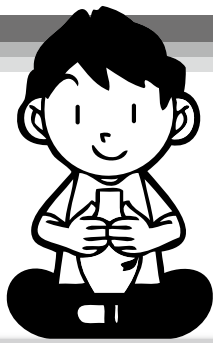
話を戻しましょう。田辺さんに「コーヒーをご馳走になりに来ました。」と伝えると、田辺さんは「おーい、梶さんコーヒー作ってえ」と梶さんに向かって言葉をかけました。「あれっ、田辺さんが淹れるんじゃないの？」と尋ねると、「えへへへ、僕はできない。」とのこと、田辺さんが部屋からもって来たインスタントコーヒー瓶を受け取ると、梶さんは緊張気味にカップに粉を入れ、ポットからお湯を注がれました。田辺さんは視覚障害者ですが、梶さんの作業工程に見当をつけながら、「廣瀬さんはブラックですよ？」と。「そうです。」「ぼくも最近ブラックですよ。」そうこうしているうちに、梶さんがコーヒーカップを台所の水道蛇口に持っていき、水道水を足し始めました。「あれっ？あー、ぬるくして、飲みやすくしているのか。」梶さんは一言「はい」と言ってテーブルにカップを置きました。皆でいっしょにぬるいコーヒーをいただきました。

「また、白鳳関が優勝しましたね。」田辺さんが好

きな相撲について話し始めます。田辺さんは九州場所で大盛期時代の朝青龍と一緒に写真を撮ってもらい、額に入れて大切にしています。「横綱はみんなモンゴルの人ですよ。」などと話していると、コーヒーを一気に飲み干した竹森さんが「ぼくね、入院したよ。」と一月ほど前の入院の体験談を語り始めます。「淑子さん(主任)が来た。」「腹を切った」とパジャマのすそをあげて傷跡を見せてくれました。「痛かったでしょう？」「痛かった。」「我慢したんですね？」「我慢した。」するとまた田辺さんが「日本人は横綱になれるやろうか？」と横から相撲の話題の続きを持ち出しました。その間、コーヒーを飲み終えた梶さんは、お風呂に入っています。しばらく話をしているうちに、竹森さんは部屋に戻り、甲崎さんは世話人の海野さんとお小遣いの話をしていました。田辺さんと昭和時代の話が始まりました。エデンの園が開園したときに最初に入所した田辺さんは年齢では私の二つ先輩、ともに若かった頃のことや関係した人のことを思い出し、あれこれと語りあいました。田辺さんは記憶力にすぐれ、年月日と曜日、天気とその日の食事、行事、ちょっとしたエピソードをよく覚えておられます。この日も新たな発見？がいくつかありました。

「さあ、そろそろおいとましますね。田辺さん、次は自分でコーヒー淹れて見ますか？」と尋ねると、「えへへへ、あー、はい」と頼りない返事。「今日はご馳走様でした。また寄らせてください。」皆さんにあいさつして外に出ると春の臭いがやわらかく降りてきました。帰り路、改めて一人ひとりとの語り合いを大切にしたいと思いました。しかしエデンの園では田辺さんのように話せる人はまれです。「あれがしたい。これがしたい。」という自らの意思や気持ちを言葉で表現できない人がほとんどです。一人ひとりそれぞれが発する断片的な言葉、表情、動作、行動をよく観察しながら皆さんの気持ちに近づいていく私たちのチャレンジはまだまだ続きます。





～陶芸活動～

エデンの園 生活支援員 山本 和寛



★おしゃれな陶器★

エデンの園では、日中活動として陶芸を行っています。花瓶やオブジェ、器等を製作しています。それぞれの個性(センス)を活かした作品を、利用者の方達と職員一丸となり制作に取り組んでいます。電動ロクロを使って茶碗を作る方や、紐作りで花瓶を作る方、綺麗に丸めた粘土を使ったオブジェを作る方、『三名フクロウ』として可愛いフクロウを作る方もいらっしゃいます。一つひとつの作品が、誰にも真似できない素晴らしい作品に仕上がっています。また、その作品をエデンの園以外にも広めたいと販売も行っています。ぜひ一度、個性豊かな素晴らしい作品を見にいらしてください。利用者の笑顔が皆様をお待ちしております。



僕たちも頑張ってます!!



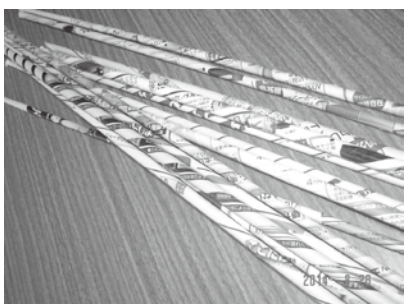
可愛い三名フクロウ♪

～肩たたき棒～

エデンの園 ふれあい
生活支援員 川辺宜敬

「あなたに・・・大切な方に・・・」というテーマで利用者の方が1本1本、手作りで心を込めて作りました。チラシを丸めた棒が、約25本入っており、肩や足等、手のとどきにくい場所を気持ちよくほぐしてくれます。

布のバリエーションも豊かで、シックなものから花柄等のカラフルなものまで作成しています。



①チラシを細い棒を使って、細く長い棒を作ります。



②布を筒状にして、25本程度入れます。



③中に押し込みながら、縫って仕上げます。おしゃみの要領。